

## 【生殖医学検査】

略語名称	正式名称	正常基準値	検査説明
子宮頸管粘液中 顆粒球エラストーゼ	子宮頸管粘液中 顆粒球エラストーゼ	陰性	顆粒球エラストーゼは顆粒球（好中球）に含まれる細菌や異物の消化分解に関わる蛋白分解酵素です。顆粒球から炎症時に放出されます。子宮頸管粘液中顆粒球エラストーゼの測定は子宮頸管炎などの有無の判定を補助します。
精液検査	精液検査	精子数：1500万/ml 奇形率：96%以下 生存率：58%以上 運動性：A～B 精液量：1.5ml以上 PH：7.2以上	男性側の不妊原因の確認検査です。人工授精（AIH）時に卵子への受精能の確認も同様の検査を実施します。精子数と運動能および母体の状態でタイミング法、人工授精、体外受精（顕微授精、胚移植）への可能性などの判断をするデータのの一つとして用いられます。
AIH	人工授精		通常タイミング法で妊娠できない場合または母体が高齢の場合に行います。良好な精子を濃度勾配分離法で分別し、細胞培養液で調整します。母体の自然排卵、または薬剤による誘発排卵に合わせて細い管で精子培養液0.5mlを子宮へ入れて自然に近い授精・妊娠を目指します。一般的に1回の成功率は5～10%半年の累積成功率は20～30%です。
尿中HCG定性試験	ヒト絨毛性ゴナドトロピン （妊娠反応）	妊娠（陽性） 非妊娠（陰性）	HCGは性腺刺激ホルモンで、主に胎盤から分泌されて妊娠を維持する機能がありますので受精卵の着床と同時期に急激に増加し、尿中にも排出されてきます。早期妊娠診断に有用
LH定性	排卵日予測検査	(2+)～(3+)排卵前日	尿中の黄体形成ホルモンを検査します。基礎体温だけでは排卵後に高体温期に移行する場合も多いので、LH分泌量の推移(LHサージ)で排卵日を予測しタイミング法や人工受精に利用します
膣分泌IGFBP-1	インスリン様成長因子結合 蛋白1型	陰性	破水の確認に用いる。羊水中には血液の100倍のIGFBPが存在するため、膣分泌液のIGFBPを測定する事で破水による羊水混入を確認する事が出来ます。

## 【内分泌検査】

略語名称	正式名称	正常基準値	検査説明
F-T3	遊離トリヨードサイロン	1.71~3.71 pg/ml	甲状腺ホルモンは、ヨードを含み物質代謝に大きな役割を果たし、その作用を発揮する活性型ホルモンです。甲状腺機能の把握、甲状腺機能亢進症の再発・治療経過の指標など重要な検査です。F-T4やTSHの検査と組み合わせて総合的に甲状腺機能状態を判定します。バセドウ病や橋本病、粘液水腫などが代表疾患です。
F-T4	遊離サイロキシン	0.70~1.48 ng/dl	甲状腺ホルモンは視床下部ホルモン(TRH)により調整される下垂体ホルモン(TSH)によって一定濃度に保たれています。甲状腺機能状態を直接的に示す指標として最も有用検査です。バセドウ病や橋本病、粘液水腫などが代表疾患です。
TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.35~4.94 $\mu$ IU/ml	視床下部—下垂体—甲状腺系の調節に重要な役割を担っています。視床下部—下垂体—甲状腺系の機能評価の指標として有用な検査です。甲状腺機能低下症で高値を示します。
LH	黄体形成ホルモン	LH男 : 1.7~11.2 mIU/ml LH女 : 1.7~13.3 mIU/ml	下垂体前葉から分泌される性腺刺激ホルモンで、卵巣あるいは精巣からの性ステロイド分泌を調整しています。男性は精巣機能障害、女性は排卵障害の診断などの使用され、下垂体前葉機能、視床下部、性腺の機能状態を把握するのに有用な検査です。
FSH	卵胞刺激ホルモン	FSH男 : 2.1~11.2 mIU/ml FSH女 : 4.1~13.3 mIU/ml	
PRL	プロラクチン	男 : 3.6~18.6 ng/ml 女 : 4.1~11.0 ng/ml	下垂体前葉から分泌されるホルモンで、主として乳腺の発育と乳汁分泌に関与しています。月経異常、男性性機能異常の検索に必須な検査です。
コルチゾール	コルチゾール	6.4~21.0 $\mu$ g/dl	副腎皮質ホルモンの1つで、生命維持を行うための糖代謝、脂質代謝、蛋白代謝、水・電解質代謝、免疫機構に関与している物質です。日内リズムや各種の負荷試験によるコルチゾール測定は、間脳—下垂体—副腎機能を推測する上で重要な検査です。分泌量はACTH(副腎皮質刺激ホルモン)によって調整されているため、ACTHと共に測定し、評価することがあります。

略語名称	正式名称	正常基準値	検査説明
HCG (hCG)	ヒト絨毛性ゴナドトロピン	男：0.5 mIU/ml ↓ 女：非妊婦（同上） 妊婦週例に違い	HCGはLHに類似した性腺刺激ホルモンで、卵巣からプロゲステロン、睾丸からテストステロンの分泌を促進します。妊娠早期診断や異常妊娠の診断と病態把握、絨毛性疾患、異所性hCG産生腫瘍の診断、治療効果、予後予測などに有用とされています。
E2	エストラジオール	男：14～75 pg/ml 月経・妊娠週期	卵巣から分泌されるホルモンで、LH（黄体形成ホルモン）FSH（卵胞刺激ホルモン）の分泌に関与します。卵巣機能検査、不妊症の排卵誘発、卵胞発育の指標となる検査です。
インスリン	インスリン, IRI	空腹時： 17 μU/ml以下	インスリンは、膵臓から合成・分泌されるホルモンです。肝臓では糖新生を抑制し、グリコゲン合成（組織への取り込み）を促進します。脂肪合成、コレステロール合成、蛋白合成の促進などの異化作用があります。細胞増殖促進作用があり動脈硬化に対して促進的で、分泌調整の最大の因子は血糖値です。ブドウ糖負荷試験で糖代謝異常の診断及び病態の把握するために、血糖値とインスリン分泌量を測定します。